

2019年4月4日

各位



日東メディック 「レスキュラ点眼液 0.12%」を スキャンポファーマより承継

日東メディック株式会社（本社：富山市八尾町保内 1-14-1 代表取締役：中井龍）は、2019年4月1日にスキャンポファーマ合同会社（本社：東京都千代田区）より、緑内障・高眼圧症治療剤「レスキュラ点眼液 0.12%」の製造販売承認を承継しました。

（1）会社概要・承継の背景

日東メディックは、点眼剤などの眼科用剤を中心とした医薬品の製造・販売を展開しています。この度、製品ラインナップの拡充を目的として、スキャンポファーマが製造販売承認を保有する「レスキュラ点眼液 0.12%」を承継しました。今後、同製品は自社にて製造し、当社が国内向けの販売を行います。

（2）「レスキュラ点眼液 0.12%」の概要

「レスキュラ点眼液 0.12%」は、緑内障・高眼圧症の治療に用いられる点眼剤です。同製品は、1994年に新薬として発売され、現在は長期収載品（後発医薬品のある新薬）となっています。直近の薬価ベースでの年間売上は約16億円です。

（3）今後の展望

「レスキュラ点眼液 0.12%」による売上増加を含め、日東メディックは、2020年5月期決算で222億円の売上を見込んでいます。

日東メディックは、医薬品製造販売を通じた社会貢献を理念として、今後も高品質な医薬品を社会に安定供給し社会的な存在価値を高めていきます。



▲レスキュラ点眼液 0.12%

本件に対するお問い合わせ先

日東メディック株式会社 総務部 郷倉・井本 TEL 076-455-3451